

事務事業チェックシート

評価年度	H24	H25	H26	対象外
	○			

事務事業No 587 事業名 消防団業務事業

[事業基本情報]

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費
	その他		
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務
	その他		
会計・予算区分	会計		一般会計
	款		消防費
	項		消防費
	目		消防団費
	大事業		消防団事業
事項		消防団業務事業	

分野別目標	1	安心して、安全に暮らせるまち
政策	2	消防・救急救助体制の充実
施策	2	消防力の充実
取組	3	非常備消防力の強化

事業種別	継続	主な事務事業
事業期間		～
関連個別計画		
担当課・担当課長 (Tel)	消防総務課	(426-0119)
関連課		

「3つの磨き」との関連性

「市民力を磨く」		「基盤力を磨く」		「観光力を磨く」		該当せず
コミュニティーの充実		メリハリある都市づくりの充実		史跡和歌山城の充実		
市民の健康環境の充実		道路・公共交通網の充実		海を生かした観光シフトの充実		
総合的な子育て環境の充実		総合防災体制の充実		美味しい和歌山市イメージの充実		
その他		その他	○	その他		

1 事業概要及び実施内容

事業目的（「誰・何」をどういう状態にする」ための事業か）	事業内容				
地域に密着した消防団員として、災害発生時の初動対応や避難誘導等、防災のリーダーとしての役割を果たす人材育成に取り組む。	和歌山市消防団員の身分保障等、処遇の改善を図り、条例で定める定員を維持し、地域防火、防災力を向上させるために次の事項を実施する。 1. 消防団員の出勤手当及び退職報償金の支給 2. 公務災害補償、退職報償金等の負担 3. 被服等各種消耗品の購入及び貸与 4. 訓練及び研修会開催 5. 定例表彰及び入団促進キャンペーン 6. 機能別消防団の創設				
事業概要	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度
	退職報償金の支給 72人 被服の貸与者数 70人 報酬の支払者 1,691人 消防団訓練、研修会開催回数 13回	退職報償金の支給 63人 被服の貸与者数 110人 報酬の支払者 1671人 消防団訓練、研修会開催回数 12回 ポンプ操法大会参加	退職報償金の支給 59人 被服の貸与者数 138人 報酬の支払者 1,658人 消防団訓練、研修会開催回数13回 入団促進キャンペーン (ラジオ放送、電光掲示板による広報、街頭広報4回) 定例表彰式 1回	退職報償金の支給 64人 被服の貸与者数 182人 報酬の支払者 1,660人 消防団訓練、研修会開催回数13回 ポンプ操法大会(市・県)2回 定例表彰式 1回	退職報償金の支給 65人 被服の貸与者数 130人 報酬の支払者 1,665人 消防団訓練、研修会開催回数 13回 定例表彰式 1回
実施内容					

2 事業コスト

事業費 千円		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平成24年度		平成25年度		
		予算	決算	予算	決算	予算	決算	計画	決算	計画	決算	
	事業費	137,695	130,063	145,756	143,422	161,392	177,310	166,782		165,895		
	伸び率 (%)	-	-	5.9%		10.7%		3.3%		-0.5%		
	人件費	常勤職員	10,586	10,609	10,609	10,406	10,404	10,835	10,835		10,835	
		非常勤職員						220	307			
	小計	10,586	10,609	10,609	10,406	10,404	11,055	11,142		10,835		
	国庫支出金							1,962				
	県支出金						1,788	3,750		3,754		
	市債											
その他	39,347	31,879	40,807	30,898	41,371	28,254	42,941		42,943			
一般財源(税等)	98,348	98,185	104,949	112,524	120,021	147,268	118,129		119,178			
所要人数	常勤職員	1.38	1.38	1.38	1.38	1.38	1.43	1.43		1.43		
	非常勤職員						0.09	0.12				

3 目標及び実績

指標名及び達成状況					平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	
活動指標	入団促進のための広報				年度目標値	3	3	3	3	3
					実績値	3	3	4		
	単位	回	全体目標値	15	全体目標達成度	66.7%	年度別達成度	100.0%	100.0%	133.3%
					年度目標値					
成果指標	消防団員の実員数				年度目標値	1750	1750	1750	1750	1750
					実績値	1626	1633	1620		
	単位	人	全体目標値	1750	全体目標達成度	92.5%	年度別達成度	92.9%	93.3%	92.5%
					年度目標値					
					実績値					
	単位		全体目標値		全体目標達成度		年度別達成度			

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要はあるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか		できる	○	あまりできない	できない
[有効性]成果目標はどの程度達成しているか	○	達成している(90%以上)		おおむね達成(70~90%未満)	達成していない(70%未満)
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し		適正	○	負担は求められない	見直しが必要

5 事業の方向性

方向性	A 計画どおり事業を進めることが妥当	B 1 事業の充実に向けた見直し	担当課評価 (所属長記載) A
	B 見直しのうえで継続	B 2 コスト削減・成果上昇	
	C 終了	B 3 類似事業との統合	
	D 休止	B 4 外部委託導入・拡大	
	E 廃止	B 5 受益者負担の適正化	
		B 6 終期設定	
		B 7 その他効率化	

担当課評価の根拠	常備消防と同様に、法律に基づき組織された団体で、消防団活動及び団員の身分保障等に伴う経費であることから、継続して実施する必要がある。
「見直し」 「改善」案 ※上記、担当課評価が「B」評価の場合のみ	